

生徒のみなさんは必ず保護者の方に渡してください。

西尾が丘

令和6.1.9
直方第二中学校
校長 川原 国章
第12号



『新年 明けまして

おめでとうございます。



本年もよろしく願いいたします。』

17日間の冬休み、生徒の皆さんはどのように過ごしましたか？「1年の計は元旦にあり」のことわざ通り、新年の目標・誓いを定め、計画を立て、実行に移すことができますか？人には、物事の初めに「よ～し 頑張るぞ！」という強いやる気を起こす「初頭効果」というものがあります。新年に立てた自分の目標・誓いを必ず達成できるように、『継続』コツコツと努力を積み重ねていきましょう。3学期は、1年でいちばん短い学期ですが、1年のまとめと次のステージへの準備など、とても大切な学期です。昔から1月は『行く』2月は『逃げる』3月は『去る』とあって、とても早く時が過ぎます。「あいさつと一人一人を大切に、一日一日を大切に」頑張ってください。



今日の始業式で私が話した内容を要約してお知らせします

辛 + 一 = 幸

『辛い』と『幸せ』という字は似ています。「辛」という字に横棒を一つ足すだけで「幸」という字になります。「辛いときに、なにかひとつ足せば幸せになることができる」ということを意味しているかもしれません。辛いことが

ない人なんていないと思います。しかし、その辛いことから逃げたりせずに、何かひとつを足すことで幸せになることができるのです。その何かとは「辛いことを乗り越える気持ち、一歩踏み出す強い気持ち」ではないでしょうか！受験勉強でも、毎日の勉強や部活動でも、また、日常生活や友人関係でも、辛いことはいっぱいあると思いますが、そんな時、一歩踏み出すことを心がけてください。「すぐに結果はでないかもしれませんが！すぐに幸せになることができないかもしれません！」けれど、いつかきっと幸せを掴むことができます。辛さの先には幸せがあるのです。強い気持ちを持って前へ一歩踏み出していきましょう。

3年生のみなさんは、いよいよ進路決定の時期です。高校入試は、社会の厳しさに出会う最初の関門です。まさに自分との戦いです。人は、それまでの生き方が、これからの人生に繋がっていきます。悔いが残らないよう、最後までやり抜いて下さい。そして、後輩達に、進路実現という大仕事に、真剣に取り組む姿を見せて下さい。これは、3年生の大切な役割です。また、早く進路が決まる人もいますが、まだ受験を控えている人たち以上に、1、2年生の模範とならなければなりません。その人自身の人間性や社会性、思いやりが見られる時です。学校の合い言葉を意識した学校生活を送ってほしいと思います。

2年生のみなさんは、これからの直方第二中学校をリードする立場になります。生徒会では、昨年12月22日に役員の新旧交代をしました。新生徒会執行部は、12月22日にリーダー研修会を行い、生徒会執行委員としての自覚と責任を確かめ、これからの1年間の活動内容を確認しました。いよいよ今日から直方第二中学校の真のリーダーとしてスタートします。

これまでの生活を振り返り、日々の生活を更に改善し、自覚と責任を常に意識して生活して欲しいと思います。

1年生のみなさんは、2年生を支え、4月から入学してくる1年生を正しく導くことができる、大切な中堅学年にならなければなりません。来るべき2年生へ向けてよい学習習慣や生活習慣をさらにしっかりと身につけることが大切です。これまでの生活を振り返り、日々の生活を更に改善し、自覚と責任を常に意識して生活して欲しいと思います。